

【参考】 県民健康づくり計画「健康実現えひめ2010中間評価と今後の取り組み」における食育関連の指標・目標値等  
○は代表項目

栄養・食生活

種類	指標	最近の値	目標値	
健康水準指標	脂肪1kg <sup>1</sup> -比率	成人(20～49歳)29.1% (H16) (50～59歳)25.9% (H16)	25%以下	
		児童・生徒(6～14歳)30.1% (H16)	27%以下	
	食塩の平均摂取量(1日当たり)	成人(20歳以上)11.0g (H16)	10g未満	
	野菜の平均摂取量(1日当たり)	成人(20歳以上)284g (H16)	350g以上	
		児童・生徒(6～14歳)241g (H16)	300g以上	
	食物繊維の平均摂取量(1日当たり)	成人(20歳以上)16.3g (H16)	20g以上	
	加ゆみに富む食品の平均摂取量 (成人1日当たり)	牛乳・乳製品111g (H16)	130g以上	
豆類65g (H16)		100g以上		
緑黄野菜97g (H16)		120g以上		
朝食の欠食率	男性(20歳以上)23.2% (H16) (20代男性)51.9% (H16) (30代 " )50.0% (H16)	15%以下		
	小・中・高校生(6～17歳)17.4% (H16)	0%		
行動指標	適正体重を維持する人の割合			
	成人肥満者(BMI 25.0)の割合	男性((20～69歳)29.0% (H16) 女性(40～69歳)24.8% (H16)	25%以下 20%以下	
	肥満児(日比式による標準体重の20%以上)の割合 〔参考：BMI指数160以上の割合〕	児童・生徒(6～14歳)10.3% (H16)	7%以下	
		〔7.5%〕 (H16)	(5%以下)	
	20歳代女性の「やせ」の人の割合	22.6% (H16)	20%以下	
	高齢者(70歳以上)のやせの人の割合	10.6% (H16)	5%以下	
	食生活に問題があると思う人の割合	男性(20歳以上)37.9% (H16) 女性( " )43.3% (H16)		
	食生活を改善しようと思う人の割合	男性(20歳以上)68.8% (H16) 女性( " )78.6% (H16)		
	食事や運動等で体重コントロールを実践する人の割合	男性(20歳以上)51.4% (H16) 女性( " )66.0% (H16)	55%以上 70%以上	
	自分の適正体重を維持することができる食事量を知っている人の割合	男性(20歳以上)44.2% (H16) 女性( " )48.0% (H16)	50%以上	
	バランスのとれた食事(主食+主菜+副菜)をしている人の割合	男性(20歳以上)70.9% (H16)	80%以上	
		女性( " )74.0% (H16)		
	楽しく食事をしている人の割合	男性(20歳以上)75.6% (H16) 女性( " )74.5% (H16)	85%以上	
	ヘルシーメニューを利用する人の割合	男性(20歳以上)34.2% (H16)	40%以上 65%以上	
		女性( " )61.2% (H16)		
	外食や食品を購入する時に食品重量や栄養成分を参考にする人の割合	男性(20歳以上)12.6% (H16)	30%以上 55%以上	
		女性( " )26.8% (H16)		
	専門家による栄養指導を受けたことのある人の割合	男性(20歳以上)9.3% (H16)	15%以上 18%以上	
		女性( " )13.3% (H16)		
	減塩に努めている人の割合	男性(20歳以上)16.3% (H16)	20%以上 30%以上	
女性( " )25.9% (H16)				
ゆっくりよくかんで食べる人の割合	成人(20～69歳)48.4% (H14)	55%以上		
食事を規則正しく食べ、生活のリズムが正しい人の割合	成人(20～69歳)83.7% (H14)	90%以上		
ごはんなどの穀類をしっかりと食べる人の割合	成人(20～69歳)79.5% (H14)	85%以上		
果物を毎日適量食べる人の割合 〔参考：1日当たりの適正摂取量200g〕	男性(20歳以上)70.7% (H16)	75%以上 80%以上		
	女性( " )77.9% (H16)			
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の参加者数	(市町村調べ)延べ36,412人 (H16)	50,000人以上		
環境整備指標	健康栄養(食生活)指導者の養成・確保	市町栄養士の配置率100% (H17)	100%の維持	
		特定給食施設栄養士の配置率74.9% (H16)	80%以上	
		その他の給食施設栄養士の配置率44.8% (H15)	60%以上	
		健康づくりボランティア団体の市町組織結成率 100% (H17)	100%の維持	
	ヘルシーメニューの提供及び利用の促進	メニューに栄養成分を表示している飲食店等の数	154店(内松山市144店) (H14～16)	300店
		ヘルシーメニューを提供している飲食店等の数	152店(内松山市143店) (H14～16)	300店
	健康や栄養に関する学習機会の充実	食生活教育を実施する学校数	100% (H17)	100%の維持
		健康や栄養に関する学習の場の数 ・健康教室等を開催している市町村数 ・年間開催回数(1市町村平均)	全市町(23市町) (H17) 78.9回 (H17)	全市町 80回以上
	栄養診断をできる市町数	愛媛県栄養診断システム活用18/22市町 (H17)	全市町	
	食生活や栄養に関する相談の場を提供している市町数	全市町(23市町) (H17)	全市町	
科学的な情報を収集・蓄積・提供できる機関の設置	0機関 (H17)	1機関		

歯の健康

種類	指標	最近の値	目標値	
健康水準指標	う歯のない幼児の割合	3歳児70.3% (H16)	80%以上	
	1人平均う蝕経験歯数	男子(12歳児)1.64歯(H16) 女子(12歳児)1.94歯(H16)	1歯以下 1歯以下	
	歯肉の炎症を有する中・高校生の割合	今後調査方法を検討	減らす	
	進行した歯周病に罹患している人の割合	46.9%(H14)	40%以下	
	60歳で24歯以上自分の歯を有する人の割合	国調査「44.1%」(H11)	50%以上	
	80歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合	17.3%(H15)	20%以上	
行動指標	就寝時に授乳する習慣を持つ幼児の割合	1歳6ヶ月児(今後調査方法を検討) 3歳児(今後調査方法を検討)	減らす 0%	
	毎日仕上げ磨きをする習慣のある保護者の割合	1歳6ヶ月児33.6% 3歳児63.8%	50%以上 80%以上	
	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合	3歳児までの塗布経験	50%以上	
	フッ化物洗口をする児童・生徒の割合	小学生17.9%(H16) 中学生 5.9%(H16)	30%以上 10%以上	
	フッ化物配合歯磨剤使用者の割合	小・中・高校生 38.9%(H12)	50%以上	
	間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ幼児の割合	39.6%(H12)	30%以下	
	個別的歯口清掃指導を受ける児童・生徒の割合(過去1年間に受けた人)	小・中・高校生 20.1%(H12)	30%以上	
	歯間部清掃器具を使用している人の割合	40歳代17.5%(H16) 50歳代26.2%(H16)	50%以上 50%以上	
	定期的に歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合	50歳代35.2%(H16) 60歳代34.8%(H16)	45%以上 45%以上	
	この1年間に定期健診を受けた人の割合	40歳代41.8%(H16) 50歳代42.8%(H16) 60歳代42.0%(H16)	50%以上 60%以上 60%以上	
	喫煙が歯周病に影響を及ぼすことを知っている人の割合	20歳代39.3%(H16) 40歳代32.6%(H16) 60歳代16.8%(H16)	100% 100% 100%	
	環境整備指標	行政機関の歯科技術職員の配置	県歯科医師1人(県庁配置)(H17) 県保健所歯科衛生士5人(H17) 市町歯科医師0人(H17) 市町歯科衛生士7人(H17)	2人(県庁、地方局各1人) 全保健所各1人 配置に努める 全市町1人以上
		各種施設における協力歯科医療機関の配置	老人保健施設 100%(H12) 特別養護老人ホーム 75.8%(H12) その他の施設 今後調査方法を検討	100%の維持 100% 増やす
成人を対象とした歯科健診を実施している市町村数		11/23市町(H17)	全市町	
歯科健診を実施している事業所数		43/673事業所(H16)	50事業所以上	
歯の健康に関する学習の場を提供する市町村数		21/23市町(H17)	全市町	
歯の健康に関する情報提供を行っている市町村数		20/23市町(H17)	全市町	

【参考】新農業ビジョン後期重点推進プログラムにおける食育関連の指標・目標値等

種類	指標	最近の値	目標値
の地産地消・食育	地産地消・愛あるサポーター登録数	900(H18)	1200
	「えひめ地産地消の日」協力店	400(H18)	500
	米飯給食週実施回数	3(H17)	3
	農業体験学習・収穫体験交流会の実施回数	50(H17)	50
の食の安全・安心	食品表示ウォッチャーのモニター結果に基づく不適正な表示の割合	28.1%(H17)	22.0%
	青果物のトレーサビリティシステムの新規導入件数	0(H17)	2
	生産情報公表JAS規格の普及に係る研修会の開催回数	1(H17)	1
化農村の活性	食品表示に関する情報内容の更新回数	1(H17)	3
	都市農村交流人口	4573人(H16)	5990人
	グリーンツーリズムインストラクターの数	10人(H16)	40人
た環境と調和した農業の展開	市町段階のグリーンツーリズム推進組織数	3(H16)	8
	エコファーマーの数	608人(H17)	1129人
	特別栽培農産物等出荷認証件数	140(H17)	200
	家畜排せつ物の利用率		94.5%